

1984年核データ研究会 プログラム実行委員会 第3回会合議事録

1. 日 時 昭和59年7月10日(火) 13時30分～17時
2. 場 所 原研東海研 研究2棟 221号室
3. 出席者 中嶋(法政大), 中沢(東大), 大竹(富士電機), 松延(住友原子力), 梶山(東北大), 吉田(NAIG), 五十嵐, 浅見, 菊池, 松浦, 水本, 中川(原研)

4. 配布資料

1. 前回議事録
2. Dr. J. Boldeman からの手紙
3. Dr. S. Kapoor からの手紙
4. 世話人からの返事のコピー

5. 議 事

1. 前回議事録の確認
2. その後の経過報告
BaldemanとKapoorからの研究会への出席は無理だとの主旨の手紙が紹介された。
3. プログラム案の作成
前回作成したプログラム案に, 世話人からの返事を加え, 座長も含めて以下の案を作成した。

11月14日(水)

1. 核燃料サイクル核データ
座長 : 西村(和)(原研)
 - 1.1 核データ利用面からのレビュー(松浦 : 原研)
 - 1.2 U-Pu サイクルでの核種生成量評価(内藤 : 原研)

(休けい)

座長：平川(東北大)

1.3 トリウムサイクル核データ(木村：京大炉)

ポスターセッションの説明(吉田：NAIG)

(昼食)

2. ポスターセッション

「原研核データセンターで利用可能な核データファイル」

3. 核データの評価

座長：菊池(康)(原研)

3.1 ガンマ線生成核データの評価とファイル化(肥田：NAIG)

3.2 共分散の評価(村田：NAIG)

(休けい)

座長：北沢(東工大)

3.3 標準断面積(松延：住友原子力)

3.4 評価のトピックス

1) NEANDC タスク フォース (中島：原研)

2) GNASH (川合：NAIG/中川：原研)

11月15日(木)

4. 核分裂現象

座長：水本(原研)

4.1 断面積の測定(神田(一)：東北大)

(休けい)

座長：瑞慶覧(日立)

4.2 断面積の理論計算(大沢：九大)

4.3 速発中性子の話し(中込：京大炉)

(昼食)

5. 特殊分野における核データの利用

座長：岡下(原研)

5.1 セーフガード(海江田：原研)

座長：岩田（原研）

5.2 軽水炉圧力容器及び核融合炉材料の中性子照射損傷研究の現状と核データ（中沢：東大）

6. サマリートーク 大竹（富士電機）

なお、世話人は各講演者に連絡し、演題（英文も同時に）の確認および座長の了承をとることとした（7月17日まで）。

4. ポスターセッションについて

テーマは「原研 核データセンターで利用可能な核データファイル」とする。説明するデータファイルと担当者の案は次の通り。

- (1) NESTOR 2（中川）
- (2) ENSDF（片倉）
- (3) JNDC FP Decay Data File（崩壊熱評価 W.G.）
- (4) JENDL（核データセンター）
- (5) JENDL-FP（FP核データ W.G.）
- (6) JENDL-3 ガンマ生成データ（ガンマ線生成核データ W.G.）
- (7) EDFSRS（長谷川）

外国のデータ（例えば ENDF/B-V）をどうするかは後日検討する。

核データファイルの範囲としては炉定数は含めない事とした。計算機端末を会場へ持ち込んでの実演や、ビデオを使った説明はしない事とした。

なお、ポスターセッションに関しては、次回会合以前（8月27日）に関係者が集まってより詳しい相談をすることとした。

5. 今後の予定

7月17日までに座長，講演者，演題の確認

7月20日 運営委員会

7月 末 (1) 国内への第1回サーキュラー（国外へは第2回サーキュラー）
送る範囲は核データニュースの送り先とする。また原子力学会誌，物理学会誌，核データニュースにも案内を載せる。

(2) 講演者への講演依頼

proceedings（英文）の執筆も依頼する。

8月27日 ポスターセッション関係者会合

9月3日 次回会合

9月中旬 国内への第2回サーキュラー送付。出欠や宿泊に関する問い合わせを行う。返答期限は10月20日で間に合う事を確認した。

6 その他

その他の確認事項は次の通り

- (1) ポスターセッションの proceedings も英文で作成する。さらに核データファイルに関する日本文のパンフレットも作成する。
- (2) Proceedings は議論の所も英文とする。
- (3) 当日会場で配布したい資料（例えば講演の要旨）がある場合は、1つの講演で3枚以内程度とし、原稿を1週間前までに核データセンターに送ってもらう。